



あい きょう しげ ゆき
愛敬重之 後援会
 だより

2020
 8月7日
 No. 38 62

発行責任者 後援会会長
 伊藤久志

愛敬重之
 公式HP
<http://www.aikyo-kuwana.net/>



皆さん、日頃の議員活動ではご協力ありがとうございます。
 世界中を震撼させた新型コロナウイルス感染症は、国内では5月25日に政府が緊急事態宣言を全面解除し、少しずつではありますが、日常の風景が戻りつつあります。

桑名市におきましても、市民・従業員の皆さん一人ひとりの徹底した感染防止対策の実践とご協力により、感染拡大の危機を乗り越えようとしております。

緊急事態宣言解除後の本市の状況につきましては、県の緊急事態措置が解除された5月15日以降、まずは、公立の幼稚園、小・中学校につきましては、子どもたちが、学びの環境を、いち早く取り戻せるよう、感染拡大対策を徹底したうえで、分散登園・登校により再開いたしました。また、公共施設の利用や市主催の事業などにつきましても、国や県の状況も見ながら、順次、規制要件を緩和してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症が今もって脅威であることは変わりありません。相談支援室への生活相談は3月以降、大幅に増加している状況にあります。また、市内事業者も、あらゆる業種で資金調達や雇用の維持に苦慮している状況にあります。このような現状を踏まえ、気を緩めることなく、万全の対策を講じながら、市民の皆さんと共に日常生活、社会経済活動を取り戻していきたいと思っております。今回の後援会だよりでは、桑名市のコロナウイルス感染症対策関連予算を報告させていただきます。最終ページではコロナ禍でも議員活動のご報告をさせていただきます。

桑名市のコロナウイルス感染症対策関連予算の報告です

4月3日：市議会臨時会（新型コロナウイルス関連補正予算 158,518千円）

主な事業概要

総務費：介護施設、保育所（園）及び学童保育等で必要となるマスクやアルコール消毒液を購入・配布する。
 （財源：ふるさと応援基金繰入金 2,518千円）

商工費：売り上げが減少した小規模事業者の資金繰りを支援するため、特例融資の利用時に、運転資金借入金利率の半額を1年間補給する。
 （財源：ふるさと応援基金繰入金 2,000千円）

商工費：最も大きな影響を受けた業種の一つである「飲食業」でのみ使用可能な「プレミアム付食事券」を発行する。
 ①7,000円分（プレミアム分2,000円）利用可能な食事券 1冊の購入額5,000円 55,000冊発行
 ②使用期間 4月下旬から6カ月以内（予定）
 ③食事券販売場所 市内参加希望の飲食店（市の負担 154,000千円 55,000冊×プレミアム分2,000円=110,000千円 業務委託費 44,000千円）

その他：官公需における柔軟な対応

- ・納期、工期の変更や早期発注と迅速な支払を行なう。
- ・消耗品費 322,382千円、備品購入費 69,573千円（令和2年度当初予算）

期末手当の前倒し支給：緊急経済対策の一環として、6月に支給する期末手当の一部を前倒して4月に支給する。

- ・支給額：一律200千円
- ・支給日：4月30日
- ・対象者：再任用職員・会計年度任用職員等を除く約1,000人

5月1日:市議会臨時会(新型コロナウイルス関連補正予算 20,684千円)

主な事業概要

- 総務費**: 採用内定を取り消された方や離職を余儀なくされた方で、市内在住の方を対象に、会計年度任用職員として採用し、緊急雇用対策を進める(※事務職 5人程度採用予定 一般財源9,481千円)
- 民生費**: 生活困窮者自立支援法に基づく住居確保給付金は、離職や廃業などによって住居を失う恐れがある人などを対象として家賃支援を行なう制度であるが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う影響を踏まえた国の制度改正により支給対象者が拡大されることなどにより、給付申請者数の増加が見込まれるため、これに係る予算を増額する。(国庫支出・一般財源3,901千円)
- 衛生費**: 検査体制を確立するため、地域の医療機関が実施するPCR検査における検査採取場所として、平日閉院している応急診療所の場所を提供するための費用を計上し、地域の医療機関における院内感染防止などを図る。(一般財源3,800千円)
- 土木費**: 感染拡大の影響に起因する離職などに伴い、現在の住まいを退去せざる得なくなった市民に対して、緊急で入居できる住居を確保するため、市営住宅の改修を行う。
(5戸5月11日~当面の間:一般財源1,500千円 家賃については免除【延長した場合は収入などに応じて徴収】)
- 教育費(小学校費・中学校費)**: 家計急変の世帯が発生することが想定されるため、学用品費や給食費などの支払いが困難となった世帯の児童生徒に対して支給する就学援助費について予算を増額。(一般財源 小学校16人・1,038千円 中学生12人・964千円)
- その他**: ○市長などの期末手当の特例に関する条例の制定について
(市長、副市長、教育長、常任監査委員 6月と12月の期末手当から10万円減額)
○桑名市議会議員の期末手当および政務活動費の特例に関する条例の制定について
(6月と12月の支給分からそれぞれ10万円を減額。政務活動費については、令和2年6月分から令和3年3月分での月額2万円減額)
○桑名駅北自転車駐車場の定期利用期間の延長
○新型コロナウイルス感染症拡大防止措置により、4月以降に学校が休校となっている学生を対象として、桑名駅北自転車駐車場の定期利用期間の延長を行います。

対象者 4月が定期利用期間に含まれる学生(高校生、大学生等)

延長期間 1カ月
(例えば、4月の1か月定期利用者は、5月末まで利用可能、4~6月までの3か月定期利用者は7月末まで利用可能)

対応方法 対象者に自転車に貼付する延長シールを送付

- 臨時休校期間中における実費負担による昼食提供について

目的 市内小学校27校、幼稚園8園では、臨時休校(園)期間中、子どもの預かりを実施しています。預かる子どもたちが昼食に困ることのないよう、希望者へ実費負担で昼食の提供を行います。

実施方法 市内中学校でスクールランチを提供している業者で調理されたお弁当を提供

実施期間 4月21日(火)~5月1日(金)の平日
希望者は事前に学校を通じて申し込み、当日学校でお弁当を受け取ります。

単価 1食 280円(実費負担)

【メニュー例】

- ◎ごはん 竜田揚げ タルタルソースにんじんしりしり
- ◎ごはん さばの塩焼き おろしポン酢豚肉のねぎ塩炒め

5月15日:市議会臨時会(新型コロナウイルス関連補正予算 15,659,390千円)

主な事業概要

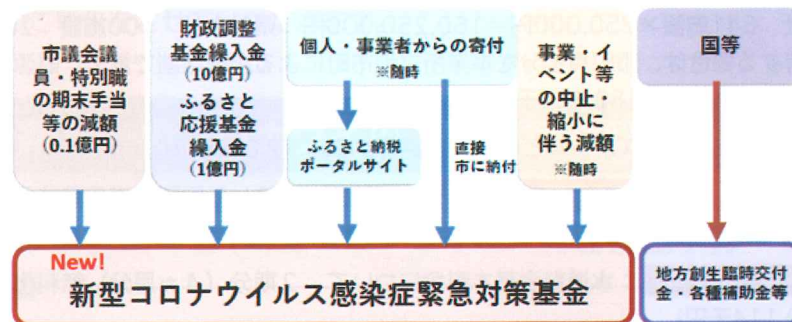
総務費: 市民生活や地域経済への影響を踏まえ、行政書士会の協力のもとコールセンターを設置し、生活支援や事業者支援などの各種給付申請手続などに関する無料電話相談を実施する予算計上する。

(一般財源 3,000千円)

受付期間	令和2年5月7日から2カ月の予定 (但し、土曜日、日曜日、祝日を除く)	
受付時間	午前9時から午後5時まで	
電話番号	0120-412-035 0120-081-077 (フリーダイヤル)	
相談内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援に関する制度(融資、補助金等)についての、制度の内容の紹介、実施主体等の案内、申請書類の作成等の支援 事業者支援に関する制度(融資、補助金等)についての、制度の内容の紹介、実施主体等の案内、申請書類の作成等の支援 	
一般財源	300万円	コールセンター役務費(電話料) 50万円 コールセンターサポート委託料 250万円

総務費: 市民の生命・生活と地域経済を守り抜く緊急対策を迅速に講じるため、**桑名市新型コロナウイルス感染症緊急対策基金**を設置し、機動的な財政出動を可能とする。

(基金積立の財源内訳)



(基金積立の財源内訳)

- 市議会議員・特別職の期末手当等の減額 1,140万円
- 財政調整基金繰入金 10億円
- ふるさと応援基金繰入金 1億円

総務費: 国の令和2年度補正予算に基づき、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行うため、一人当たり10万円の給付を行う予算を計上するとともにそれに係る**事務費**も計上する。

(給付対象は基準日(令和2年4月27日)において住民基本台帳に記録されている者)

(給付金、事務費とも国庫支出金)

(給付金振込について: 週2回振込日(火・木)を設定して振込!)

新型コロナ給付金準備室予算	
歳入	歳出
特別定額給付金事業補助金 141億7,010万円	特別定額給付金 141億7,010万円 ※100,000円×141,701人(人口)
特別定額給付金事務費補助金 1億9,000万円	需用費(印刷代など) 616.5万円
	役務費(郵送料など) 5,061.5万円
	委託料(システム使用料など)9,800万円
	使用料及び賃借料(機器借上)2,522万円
	人件費 1,000万円

6月末時点で98%支給完了のようでした。

民生費：国の令和2年度補正予算に基づき、感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため、児童手当（本則給付）の受給者への臨時特別給付金の支給及びそれに係る**事務費**を計上する。

（国庫支出金：190,710千円）

消防費：出水期における避難者の感染リスクの軽減のためマスク・手指消毒液・ビニール手袋及び非接触型体温計を購入する予算計上する。（県支出金+市財源（3,059千円））

教育費：国の緊急対応策に基づき、学校給食事業者への食材のキャンセルに要した費用及び学校給食再開に向けた学校給食事業者への衛生管理上必要な設備など購入に対する補助金を交付する予算計上する。

（9事業者、設備導入1事業者 8,138千円）

令和2年第2回市議会定例会（新型コロナウイルス関連補正予算 580,540千円）

主な事業概要

総務費：市内福祉施設・医療機関・学校などへマスク・消毒液の追加配布（緊急対策基金 14,594千円）

総務費：中止される事業減額分について感染症緊急対策基金に積立てる（一般財源 6,552千円）

民生費：放課後などデイサービスの利用増による給付（国、県、緊急対策基金、一般財源 14,800千円）

民生費：国の令和2年度補正予算に基づき、感染症の影響を受けているひとり親世帯などへの臨時特別給付金の支給及び**事務費**を予算計上する。

（給付金、事務費とも国庫支出金 88,198千円）

○基本給付【対象世帯（見込み）842世帯】児童扶養手当を受給しているひとり親世帯などへの給付（1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円）

○追加給付【対象世帯（見込み）635世帯】家計が急変し、収入が減収しているひとり親世帯などへの給付（1世帯5万円）

商工費：県・市が協調して「三重県新型コロナウイルス感染症拡大阻止協力金」を交付するための本市負担金を予算計上する。（市内本社 641施設×250,000円＝160,250,000円 県外本社 100施設 20,573,211円 ※複数市町に施設を有する場合は、市町負担分を事業所立地市町による店舗数割で算出）財源⇒新型コロナウイルス感染症緊急対策基金繰入金180,824千円

消防費：感染症防止用救急ジャンパー・救急ズボンなどについて更新する。（2,058千円）

令和2年度桑名市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）：感染症に感染した国民健康保険被保険者などに対する傷病手当金の支給（県 3,400千円）

令和2年度水道事業会計補正予算（第1号）：水道料金基本料金について、2期分（4ヵ月分）無料化（感染症緊急対策基金繰入金 270,114千円）

最近の活動報告を掲載します

●企業とのつながりでは・・・

まず、総合医療センターにグリーンパワーステーション（GPS）を導入できました。環境にやさしい装置であり、自然災害時も携帯電話など充電ができます。今回の装置は、平常時はダウンライト2基を点灯させます。医療従事者の感謝をこめ、ピンク色にさせていただきました。また、桑名市総合医療センターのご厚意によりNTNのロゴを入れさせていただきました。



写真：東汰上6号線道路

●地域とのつながりでは・・・

東汰上自治会長と、さまざまな地域の問題について協議をしております。市の幹部の方達とも同時に協議しながら2事業について問題を解決させていただきました。

写真左上は、東汰上6号線道路です。橋だけが2m道路です。（R2年詳細設計）写真左下は、東汰上埋立最終処分場です。供用開始から30年以上が経過していることから適正管理向上を目指し、令和2年は地盤調査と測量調査を実施予定です。



写真：東汰上埋立最終処分場



写真：設置されたGPS